

【技術分類】 4 - 4 - 3 予防歯科 / 口腔衛生用器材 / 歯垢検出用器材

【技術名称】 4 - 4 - 3 - 1 歯垢染色剤

【技術内容】

予防歯科などにおいて、歯面に歯垢が形成されているか検出するために使用するものである。

歯垢の検出にはフロキシシン（食用赤色 104 号）が使用され、歯垢が赤く染色されるものである。また、新しい歯垢と古い歯垢の染め分けが可能な歯垢染色剤が最近開発され、市販されている。これは染色剤としてフロキシシンのほかにプリリアントブルー（青色 1 号）が添加されているものである。古い歯垢は青紫色に、新しい歯垢は赤色に染め分けられる。

歯垢染色剤は液状のものが多く、一般的には綿球法で塗布して使用する。このほか、ジェル状、錠剤などが市販されている。

最近の研究では、歯垢染色後、唾液中の口腔連鎖球菌とミュータンス連鎖球菌が少なく検出される傾向がみとめられたため、唾液検査は歯垢染色前に実施することが好ましいことが明らかにされている。

【図】

図 1 歯垢染色剤



(a) 一色染色・液タイプ



(b) 一色染色・ジェルタイプ



(c) 二色染色タイプ

「Prospec」：株式会社ジーシーの登録商標

図 2 歯垢の染色（一色染色タイプ）



(a) 染色前



(b) 染色後

図 3 歯垢の染色（二色染色タイプ）



【出典】

図 1 (a) ~ (c): 刊行物名:「2006 年度版ジーシー総合カタログ」、発行年月日:2006 年 2 月、
発行者:株式会社ジーシー、出典箇所:148 ページ、図番号:(a) - 最上段図、(b) - 上から
2 段目図、(c) - 上から 3 段目図

図 2 (a)・(b): 刊行物名:「CASE PRESENTATION わが医院の PMTC」、掲載日:2002 年
10 月 25 日、著者名:景山正登(景山歯科医院)、発行者:株式会社ジーシー、出典箇所:図 2
(a) - 図 1・2; 図 2 (b) - 図 1・3、関連箇所:「ジーシートップページ>ジーシーの製品>
ケースプレゼンテーション>予防・MI>わが医院の PMTC」、検索日:2007 年 2 月 7 日、
アドレス: http://www.gcdental.co.jp/watching/pdf/102_5.pdf

図 3: 刊行物名:「2006 年度版ジーシー総合カタログ」、発行年月日:2006 年 2 月、発行者:株
式会社ジーシー、出典箇所:240 ページ、図番号:なし(中段右)、図面名称:「プラークの付
着部位」

【参考資料】

論文名:「唾液中の口腔レンサ球菌とミュータンスレンサ球菌定量に対する 2 種類の歯垢染色剤の
影響」、刊行物名:「日本口腔感染症学会(JOID)」、巻数:12、号数:2、発行年月日:2005 年、
著者名:岡山秀仁(財団法人 8020 推進財団、国立保健医療科学院・口腔保健部)ほか、発行所:
日本口腔感染症学会、参考箇所:15-17 ページ